07　肝細胞癌

※ レジメン名称を　クリック または Ctrl ＋クリック してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“現在のページを印刷する” を選んでください。

	分 類	コード	レジメン名 称	備 考
1	共通	07002-1A	NEW　FP	
2	共通	07003-1A	アイエーコール動注	
3	科別(消内)	07006-1B	5-FU 間歇大量肝動注	
4	科別(消内)	07007-1B	Low dose FP 肝動注(5 日投与 2 日休薬 5-FU5 時間投与)	
5	科別(消内)	07007-2B	Low dose FP 肝動注(5 日投与 2 日休薬 5-FU23 時間投与)	
6	共通	07008-1A	ラムシルマブ(肝)	
7	共通	07009-１A	アテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用	
8	共通	07010-1A	【初回】トレメリムマブ+デュルバルマブ	
9	共通	07011-1A	デュルバルマブ単独(肝細胞)	

07002	肝細胞癌	NEW FP	申請科 内科

H21.2 承認、H27.7 改訂、H28.6 改訂　H30.7 改訂　R2.6 改訂 R3. 5 改訂

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
アイエーコール (cisplatin)	50mg／body／day	i.a.	day1、8
リピオドール	5～10mL	i.a	day1、8
フルオロウラシル (5-FU)	250mg／body／day	i.a.(one shot)	day1、8
フルオロウラシル (5-FU)	250mg／body／day	cia.(24hour)	day1～5、8～12

3週毎
耐性になるまで

Regimen

	day1、8
点滴静注 4時間	メイン①生理食塩液　500mL　1B
4時間	メイン②生理食塩液　500mL　1B
30分	メイン③ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ点滴静注バッグ 1mg　1B デキサート注　6．6mg　1V
TAE	動注①アイエーコール　50mg　1V リピオドール　（　　）mL
one shot	動注②ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注250mg　1V
5分	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液50mL　1B
24 時間	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液　500mL　1B ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注250mg　1V
点滴静注 4時間	<アイエーコール動注後> メイン④生理食塩液　500mL　1B
4時間	メイン⑤生理食塩液　500mL　1B

	day2～4、9～11
24 時間	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液　500mL　1B ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注250mg1V
	day5、12
24 時間	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液　500mL　1B ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注250mg1V
5分	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液50mL　1B 動注ﾒｲﾝ③ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用 （100 単位/mL）10mL　1本 リザーバー動注終了時フラッシュ用

備　考

【レジメンシステム登録】
07002-1A　NEW　FP
・リピオドール 10mL で登録

07003	肝細胞癌	アイエーコール動注	申請科 内科

H23.9 登録、H27.7 改訂、H28.6 改訂　H30.7 改訂

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
アイエーコール (cisplatin)	65mg／㎡	リザーバー持続動注 1日1回肝動脈内に 20～40分間	day1

4～6週間休薬
進行肝癌

Regimen

	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液 20mL　1本 フラッシュ リザーバー動注開始時フラッシュ用		
5分	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液50mL　1B		
40分	動注側①生理食塩液　100mL　1B アイエーコール　（　　）mg 調製時には約 50 度に加温した生食で溶解 肝動脈内に挿入されたカテーテルから投与 リザーバー持続動注		
5分	動注側②生理食塩液50mL　1B		
	動注ﾒｲﾝ③ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用 （100 単位/mL）10mL　1 本 リザーバー動注終了時フラッシュ用		

備　考

【レジメンシステム登録】
07003-1A　アイエーコール動注
・1 ｸｰﾙ 4 週間、投与時間 40 分で入力

※腎毒性軽減の為の輸液については、通常の注射処方で入力とする。
※アイエーコール調製時には約50度に加温した生理食塩液で溶解

07006	肝細胞癌	5-FU 間歇大量肝動注	申請科 内科

H23.8 登録、H27.7 改訂、H28.6 改訂　H30.3 改訂　R1.6 改訂　R5.5 改訂　科別（消内）

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
フルオロウラシル (5-FU)	1000mg／㎡	リザーバー肝動注 5時間	1週間毎
3か月間を目安とする			

Regimen

	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液20mL　1 本 フラッシュ リザーバー動注開始時フラッシュ用		
5分	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液50mL　1本		
	動注 側①生理食塩液20mL　1 本 ルート充填用		
5時間	動注 側②フルオロウラシル注（ ）mg リザーバーによる持続肝動注 ｲﾝｼﾞｪｸﾀﾙｱｰﾛｯｸ付きｼﾘﾝｼﾞで払出す ルート接続用にｺﾈｸﾀﾙｱｰﾛｯｸを薬剤部から 1 個添付する		
5分	動注ﾒｲﾝ③生理食塩液50mL　1 本 動注ﾒｲﾝ④ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用 （100 単位/mL） 10mL　1 本 リザーバー動注終了時フラッシュ用		

備　考

【レジメンシステム登録】
07006-1B　5-FU 間歇大量肝動注
※フルオロウラシル：
ｲﾝｼﾞｪｸﾀﾙｱｰﾛｯｸ付きｼﾘﾝｼﾞで払い出し、ルートにｺﾈｸﾀﾙｱｰﾛｯｸを接続し投与。

07007	肝細胞癌	Low dose FP 肝動注 （5 日投与 2 日休薬 5FU5 時間投与）	申請科 内科

H27.7 改訂、H28.6 改訂　H30.5 改訂　科別（消内）

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
フルオロウラシル (5-FU)	250mg／body／day	i.a.（5hour）	day1，2，3，4，5 （5day／w×4week） day6，7は休薬
シスプラチン（CDDP） (cisplatin)	10mg／body／day	i.a.（1hour）	day1，2，3，4，5 （5day／w×4week） day6，7は休薬

4 週を1クールとして、1～6クール施行。
各クール間の休薬期間は設定なし。

Regimen

	day1~5、8～12、15～19、22～26 動注ﾒｲﾝ①生理食塩液20mL　1 本 フラッシュ リザーバー動注開始時フラッシュ用
5分	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液50mL　1B
1 時間	動注ﾒｲﾝ③生理食塩液　100mL　1B シスプラチン注　10mg　1V
5 時間	動注ﾒｲﾝ④生理食塩液　500mL　1B ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注　250mg　1V
5分	動注ﾒｲﾝ⑤生理食塩液　50mL　1B
	動注ﾒｲﾝ⑥ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用(100 単位/mL) 10mL　1本 リザーバー動注終了時フラッシュ用

備　考

【レジメンシステム登録】
07007-1B
Low dose FP 肝動注
（5 日投与 2 日休薬 5-FU5 時間投与）

07007	肝細胞癌	Low dose FP 肝動注 （5 日投与 2 日休薬 5FU23 時時間投与）	申請科 内科

H27.7 改訂、H28.6 改訂　H30.5 改訂　科別（消内）

薬　品　名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法（1 ｸｰﾙ）
フルオロウラシル (5-FU)	250mg／body／day	i.a.（23hour）	day1，2，3，4，5 （5day／w×4week） day6，7は休薬
シスプラチン（CDDP） (cisplatin)	10mg／body／day	i.a.（1hour）	day1，2，3，4，5 （5day／w×4week） day6，7は休薬

4 週を1クールとして、1～6クール施行。
各クール間の休薬期間は設定なし。

Regimen

	day1，8，15，22
	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液　20mL　1 本 フラッシュ リザーバー動注開始時フラッシュ用
5分	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液50mL　1B
1 時間	動注ﾒｲﾝ③生理食塩液　100mL　1B シスプラチン注　10mg　1V
23時間	動注ﾒｲﾝ④生理食塩液　500mL　1B ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注　250mg　1V

	day2～5、9～12、16～19、23～26
1 時間	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液　100mL　1B シスプラチン注　10mg　1V
23時間	動注ﾒｲﾝ②生理食塩液　500mL　1B ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ注250mg　1V
	day6，13，20，27
5分	動注ﾒｲﾝ①生理食塩液　50mL　1B
	動注ﾒｲﾝ②ﾍﾊﾟﾘﾝ Na ﾛｯｸ用 （100 単位/mL）10mL　1本 リザーバー動注終了時フラッシュ用

備　考

【レジメンシステム登録】
07007-2B
Low dose FP 肝動注
（5 日投与 2 日休薬 5-FU23 時間投与）

R2.3 登録　R2.6 改訂　R2.12 改訂　R5.1 改訂

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
07008	共通	肝細胞癌	ラムシルマブ(肝)	消化器内科

適応患者	
病期(stage)；　Ⅰ　Ⅱa　Ⅱb　Ⓘⅱ　Ⓘⅴ PS；0～1	□adjuvant　□ neoadjuvant　■再発・進行　□その他(　)

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間			
薬　品　名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
サイラムザ (Ramucirumab)	8mg／kg	div.(60min)	day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2 週毎 可能な限り継続	(外来)化療ベット予約：1.5 時間で登録	
Radiation 併用　無	1回　Gy×　日、Total　Gy×　Fr		

レジメン

投与時間	投与日及び投与ルート
5 分 ※ 60 分 30 分 全開 (5 分)	Day1 ﾒｲﾝ①生理食塩液　50mL　1B ネオレスタール注　10mg　1A 側①生理食塩液　250mL　1B サイラムザ(　)mg 側②生理食塩液　50mL　1B

備　考

・サイラムザ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。

・サイラムザによる infusion reaction が発現する恐れがあるため、投与中は患者の状態を十分に観察すること。

※サイラムザの投与時間；初回は 60 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目以降 30 分まで短縮可能。

【レジメンシステム登録】
07008-1A　ラムシルマブ(肝)
R2.12　添付文書改訂により、ラムシルマブ点滴静注の投与時間短縮可能であるコメント追記

R2.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
07009	共通	切除不能な肝細胞癌	アテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用	消化器内科

適応患者

病期(stage)； Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⅳ PS； 0～1 （ まで）	□adjuvant □ neoadjuvant ☒再発・進行 □ その他（ ）

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数（クール数）、化療ベット時間

薬 品 名	1回（1日）投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
テセントリク (atezolizumab)	1200mg/body	Div 初回 60 分 忍容性良好なら 2 回目以降は 30 分	Day1
アバスチン (bevacizumab)	15mg/kg	Div 初回 90 分 忍容性良好なら 2 回目は 60 分 それ以降は 30 分	Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3 週毎・1 回	化療ベット予約： 3.0 時間で登録	
Radiation 併用 有 ・ 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		

レジメン

投与時間	投与日及び投与ルート
	day 1
5 分	ﾒｲﾝ①生理食塩液 50mL 1B
※1 60 分 30 分	側①テセントリク 1200mg 1V 生理食塩液 250mL 1B
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B
※2 90 分 60 分 30 分	側③生理食塩液 100mL 1B アバスチン （ ）mg
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B

備 考

※１テセントリクの投与時間；初回は 60 分かけて点滴静注。忍容性良好なら、２回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。

※２アバスチンの投与時間；初回は 90 分かけて点滴静注。、忍容性良好なら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。

・基本的に前投薬は行わないが、サイクル 1 で infusion reaction が発現した場合、抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤（アセトアミノフェン）の前投薬を考慮。
・テセントリクはインラインフィルターを通す必要がある。
・初回は入院のうえ、モニターを装着して行う。

【レジメンシステム登録】
07009 アテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用
アテゾリズマブ投与時間 60 分で入力
BEV 投与時間 90 分で入力

R5.6 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
07010	共通	治癒切除不能な肝細胞癌	【初回】トレメリムマブ+デュルバルマブ	消化器内科

適応患者

病期(stage)； Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⅳ PS； 0～1 （ まで）	□adjuvant □neoadjuvant ■再発・進行 ■その他（未治療）

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数（クール数）、化療ベット時間

薬 品 名	1回（1日）投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
イジュド (Tremelimumab)	300mg※1	div(60 分)	Day1 （イジュドは初回 1 回のみ投与）
イミフィンジ (Durvalumab)	1500mg※2	div(60 分)	Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週間 初回のみ	化療ベット予約：Day1：2.5 時間で登録	
Radiation 併用 有 ・無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		

レジメン

投与時間	day1			備 考
5 分	ﾒｲﾝ①生理食塩液	50mL	1B	※体重 30kg 以下の場合は以下のとおり用量変更が必要となるため薬剤部に要事前申請 ※1：体重 30kg 以下の場合は 4mg/kg（体重） ※2：体重 30kg 以下の場合は 20mg/kg/回（体重）
60 分	側①生理食塩液	100mL	1B	・イジュド、イミフィンジ投与にあたり、インラインフィルター（0.2 又は 0.22μm）を使用すること
	イジュド	300mg	1V	
5 分	側②生理食塩液	50mL	1B	・イジュド、イミフィンジは 60 分以上かけて点滴静注すること
60 分	側③生理食塩液	100mL	1B	・イジュドは初回に単回投与のみ。2 コース目以降はデュルバルマブ単独（肝細胞癌）へ移行する
	イミフィンジ	500mg	3V	
5 分 （全開）	側③生理食塩液	50mL	1B	【レジメンシステム登録】 07010-1A 【初回】トレメリムマブ+デュルバルマブ

R5.6 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
07011	共通	治癒切除不能な肝細胞癌	デュルバルマブ単独(肝細胞)	消化器内科

適応患者

病期(stage)； Ⅰ Ⅱa Ⅱb Ⅲa Ⅲb Ⅳ PS； 0～1 （ まで）	□adjuvant □neoadjuvant ■再発・進行 ■その他(未治療)

薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間

薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 ｸｰﾙ)
イミフィンジ (Durvalumab)	1500mg※	div(60 分)	Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週毎 PD または許容できない毒性が認められるまで	化療ベット予約： 1.5 時間で登録	
Radiation 併用 有 ・無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		

レジメン

投与時間	day1		
5 分	ﾒｲﾝ①生理食塩液	50mL	1B
60 分	側①生理食塩液	100mL	1B
	イミフィンジ	500mg	3V
5 分 (全開)	側②生理食塩液	50mL	1B

備 考

※体重 30kg 以下の場合 1 回投与量は 20mg/kg（体重）とする必要があるため薬剤部に要事前申請

・【初回】トレメリムマブ+デュルバルマブ施行後に適応

・イミフィンジ投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22μm）を使用すること

・イミフィンジは 60 分以上かけて点滴静注すること

【レジメンシステム登録】

07010-2A デュルバルマブ単独(肝細胞)